

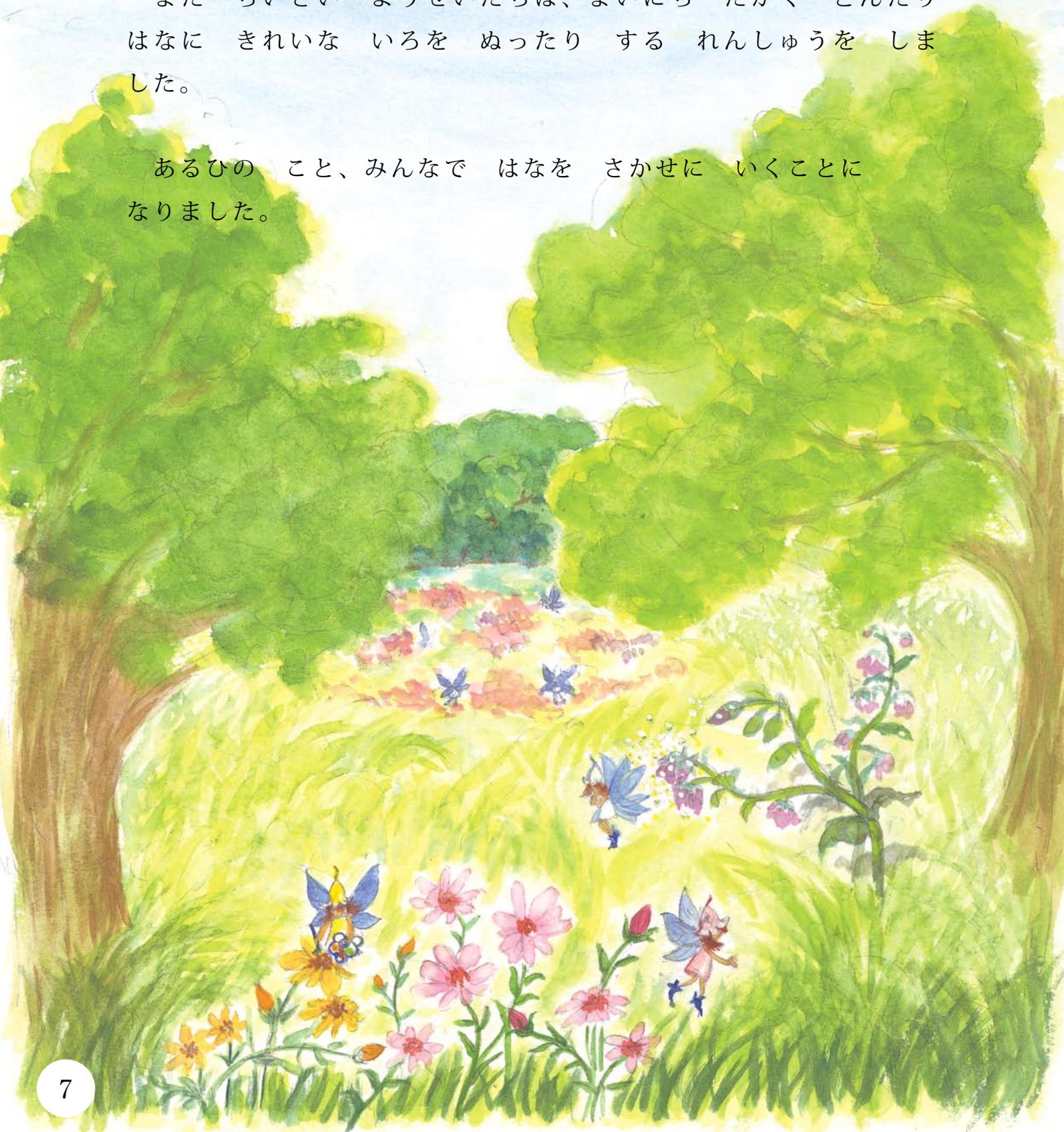
はなのようせいたち

もりの なかに、ようせいが すんで いました。

ようせいは、きれいな はなを さかせる ふしぎな ちからを もっています。

まだ ちいさい ようせいたちは、まいにち たかく とんだり はなに きれいな いろを めったり する れんしゅうを しました。

あるひの こと、みんなで はなを さかせに いくことになりました。



ようせいの ランちゃんは、とても たかく とべますが ちか
らが よわいので おおきなつぼみを ひらく ことが できませ
ん。

リンちゃんは、とても ちからもちですが たかく とぶことが
できません。

ロンちゃんは、はなに とても ていねいに いろを ぬりますが
はやくは ぬれません。

「ランちゃん、リンちゃん、ロンちゃんと いっしょは いやだよ。」
みんなは さんにんを のこして とびたって いました。



「ねえ、わたしたち　さんにんで
はなを　さかさに　いきましょう。」

ランちゃんが、おもいきって
ふたりを　さそいました。

「うん。」

「うれしいなあ。」

さんにんは、はなばたけに　やってきました。

「このつぼみ、かたくて　ひらかないよ。」

ランちゃんも　ロンちゃんも　こまって　しまいました。

「わたしに　まかせて。」

リンちゃんが　ちからいっぱい　じゅもんを　となえると・・・。
おおきな　はなが、ゆっくり　ひらきました。

「すごいね！　リンちゃん。」

「えへへ。」

リンちゃんは、とても　うれしく　なりました。

すこし　いくと、うえの　ほうに、かわいいつぼみが　ありました。

「あんなに　たかい　ところまで　とべないよ。」

リンちゃんと　ロンちゃんが　いうと、

「わたし、やって　みる！」

ランちゃんが、いきおいよく　ジャンプして、せなかの
はねを　おもいきり　うごかしました。ランちゃんの
じゅもんで、つぼみが　みごとに　ひらきました。

「やったね、ランちゃん。」

「うん！」

ランちゃんも　にこにこがおです。



ガサ ゴソ、ガサ ゴソ・・・。

「にんげんよ。かくれて。」

さんには、あわてて かくれました。

ちいさな おんなのこが、
なにかを さがして いるようです。

「おかあさんの すきな
きいろいはな、このへんに
あったけどなあ。」

「あ、あった！ でも・・・。
いろが ちがう。あしたは、
おかあさんの たんじょう
びなのに どうしよう。」

おんなのこは、ざんねんそうに
もりの おくへ はいって
いきました。

「かわいそうだね。」

「わたしたちで なんとか できないかな？」



「ロンちゃんなら できるよ。」

「うん、がんばってみる。」

ロンちゃんは ふたりに はげ
まされて はなに いろを
つけはじめました。

すこし じかんは かかりま
したが、とても きれいな いろ
に なりました。



ガサ ゴソ、ガサ ゴソ・・・。

「どこにも なかったわ。どうしよう。」

もどってきた おんなのこの めに、きれいな はなが うつりました。

「あれ、こんなに きれいな はなが あったんだ。」

おんなのこは だいじそうに その はなを つむと、うれしそうに かえって いました。

「よかったね、ロンちゃん。」

「うん。」



これからも、もりには たくさんの きれいな はなが
さくでしょう。

はなの ようせいたちが、ちからを あわせて いっしょうけん
めい さかせた はなが・・・。

